

Mémoires 2018

秋華賞



第23回秋華賞(GI)優勝馬アーモンドアイ

平成最後の三冠牝馬が誕生

圧倒的な末脚で桜花賞とオークスを制したアーモンドアイが、牝馬三冠制覇をかけて登場。単勝オッズ1.3倍という断然の人気と注目を集めて、史上5頭目の偉業に挑んだ。

アーモンドアイは、これがオークス以来の実戦だった。秋にレースを走らず、春以来の「ぶつつけ本番」で秋華賞を制した馬は、ここまでの22年間でわずか3頭。2006年のカワカミプリンセスが最後となっていた。

しかし、そんな休み明けの不安など、この規格外の怪物牝馬には無用だった。

レースは、夏の北海道で3連勝、しかもすべて圧勝で制した上がり馬ミッキーチャームが緩みのないペースで軽快に飛ばして引っ張る。アーモンドアイはスタートこそわずかに遅れたが、慌てず中団にポジションを取って追走した。

前の6、7頭はバラけているが、その後ろは固まった状態で馬群は3～4コーナーへ。この「渋滞」に、なんとアーモンドアイも巻き込まれてしまう。「前の馬が進まなくて、大外から行かないといけませんでした」とクリストフ・ルメール騎手が振り返ったように、距離のロスを覚悟で大外を回って直線に向けたアーモンドアイ。力強い足取りで先頭を行くミッキーチャームは、まだはるか前にいた。

そこからの末脚は、まさに圧巻だった。決して長いとはいえない内回りコースの直線を、アーモンドアイは他馬が止まって見えるほどのスピードで上昇する。セーフティリードを取っていたミッキーチャームをあっという間に捉え、ゴールしたときにはさらに1馬身半突き放していた。

レース後、ルメール騎手は「ファンタスティック・ホース。日本で一番強い馬です」と愛馬に賛辞を贈った。国枝栄調教師は2010年のアパパネに続き、2度目の牝馬三冠制覇。もちろん史上初の快挙だった。

呆れるほどの強さで偉業を達成したアーモンドアイ。そのパフォーマンスが3歳牝馬の枠に収まるものではないことは、この次走、ジャパンカップで証明されることとなる。

▶オークス以来のレースも異次元の強さで快勝したアーモンドアイ。



第23回秋華賞(GI)

10/14 京都競馬場 2000m(芝・右) 晴・良 17頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	アーモンドアイ	牝3	55	C.ルメール	国枝 栄	1:58.5	①	①①①①①②
2	ミッキーチャーム	牝3	55	川田 将雅	中内田充正	1 1/2	⑤	①①①①①①
3	カンタービレ	牝3	55	武 豊	中竹 和也	1	③	①①②③③②
4	サラキア	牝3	55	池添 謙一	池添 学	3/4	④	⑧⑨⑦⑥⑥
5	ラテュロス	牝3	55	秋山真一郎	高野 友和	ハナ	⑬	⑥⑥⑤⑤⑤
6	ランドネ	牝3	55	戸崎 圭太	中竹 和也	クビ	⑧	③③③③②
7	プリモシーン	牝3	55	北村 宏司	木村 哲也	ハナ	⑥	⑮⑮⑮⑮⑮
8	ゴージャスランチ	牝3	55	横山 典弘	鹿戸 雄一	1 1/4	⑩	⑧⑧⑨⑩⑩
9	ラッキーライラック	牝3	55	北村 友一	松永 幹夫	クビ	②	⑥⑥⑦⑥⑥
10	サトノガーネット	牝3	55	浜中 俊	矢作 芳人	クビ	⑮	⑮⑮⑮⑮⑮②
11	トーセンプレス	牝3	55	藤岡 佑介	加藤 征弘	アタマ	⑮	⑮⑮⑮⑮⑮⑧
12	バイオニアハイオ	牝3	55	柴田 善臣	牧 光二	3 1/2	⑨	⑬⑬⑬⑬⑬⑤
13	ダンサール	牝3	55	M.デムーロ	須貝 尚介	1/2	⑦	⑬⑬⑬⑬⑬⑤
14	オールフォーラヴ	牝3	55	幸 英明	中内田充正	1 1/4	⑫	⑧⑨⑨⑩⑩
15	ハーレムライン	牝3	55	大野 拓弥	田中 清隆	4	⑰	③③③③④
16	オスカールビー	牝3	55	川須 栄彦	矢作 芳人	2 1/2	⑭	②②②②②②
17	サヤカチャン	牝3	55	高倉 稜	田所 秀孝	3 1/2	⑯	⑤⑤⑥⑥⑧
—	一スカーレットカラー	牝3	55	岩田 康誠	高橋 亮	出走取消	—	—

単勝①130円 複勝①110円 ③280円 ②220円 枠連(6-7)710円
 馬連①-③880円 馬単①-③1,000円 ワイド①-③420円 ②-④340円 ②-③1,500円
 3連複②-④-③2,360円 3連単①-③-②5,600円

ハロンタイム 12.1-10.9-12.7-12.1-11.8-11.9-11.8-11.5-11.8-11.9
 通過タイム 600m③35.7-800m④47.8-1000m⑤59.6-1200m⑥1:11.5-1400m⑦1:23.3-
 1600m⑧1:34.8-1800m⑨1:46.6

優勝馬 アーモンドアイ

2015.3.10生 父ロードカナロア 母フサイチパンドラ 母の父サンデーサイレンス
 安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)シルクレーシング



▲中団のアーモンドアイ(帽色・緑・右)は、動くに動けず4コーナーでは大外に。